

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 13	職員の異動や退職に伴い事業所理念・グループホームに求められる役割の理解に職員間の差が大きくなっている。	事業所理念・グループホームの役割・求められる介護の実現に向けて取り組む。	地域密着型サービスの基本的な考え方 事業所理念、グループホームの役割と毎月、理解の深度を見ながら勉強会・話し合いの機会を設ける。	12月
2	23 24 25 38	本人の思いを尊重して行動を見守り支援する力の不足と臨機応変な対応に欠ける場面がある。	充実した生活を送って頂くため個々のできる事・サポートのいる事を見極めて職員都合ではなく、対応に余裕を持ち本人のできる力と意欲が継続できるように支援していく。	家族からの情報、個々の性格や思い・行動を共有し認知の言動を理解して統一した対応が出来るように思案して支援を進めていく。	12月
2	23 25 37 38 48	個々の認知症状やADLの把握が職員間でバラつきが見られるため、過剰な支援を行っていることが考えられる。	個々の能力を把握して適切な声掛け、出来ることを尊重した自立支援を行う。	ユニット会議を定期的に行い、職員間で情報の共有・意見交換を行い、アセスメントの見直し介助の統一を図る。 認知症やコミュニケーション技術向上の勉強会を企画・実施する。	12月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。